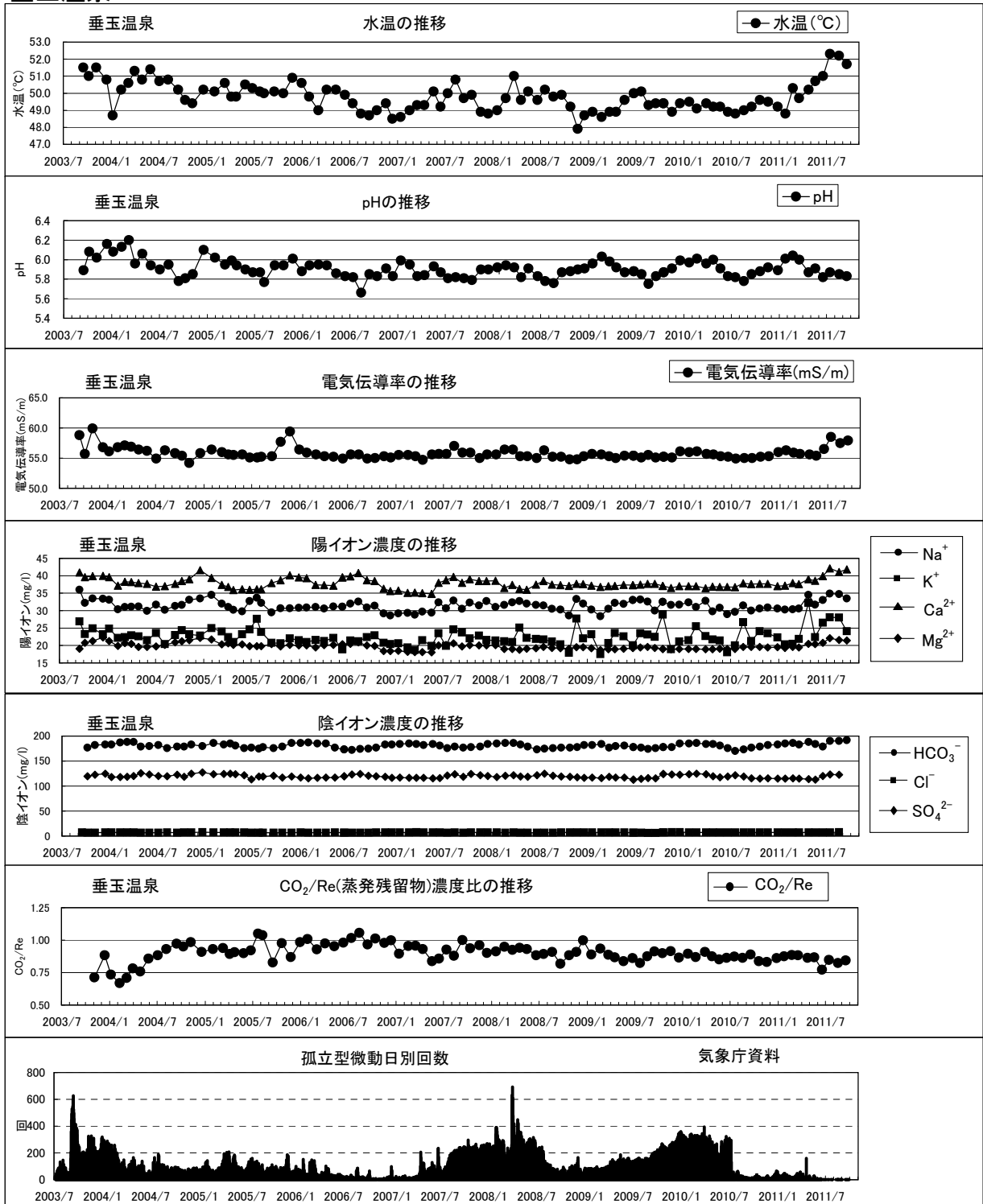


# 阿蘇火山における温泉観測

## 垂玉温泉



阿蘇垂玉温泉山口旅館(本湯)の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO<sub>2</sub>/Re(蒸発残留物)濃度比の推移(孤立型微動日別回数は気象庁資料)。源泉は、中岳火口から南西約5kmに位置している。

気象庁ほかの観測において、4月中旬から火山性微動の振幅がやや増大し、火口からの二酸化硫黄放出量も若干増加した。5月中旬から6月初旬には、ごく小規模な噴火が継続して発生した。

垂玉温泉においては、泉温が2月頃から上昇傾向に転じ、7月には約3.5℃の上昇が観測された。電気伝導率や陰・陽イオン類にも、僅かな増加が見られる。溶存二酸化炭素相対濃度(二酸化炭素濃度/蒸発残留物濃度)には、顕著な変化は認められない。